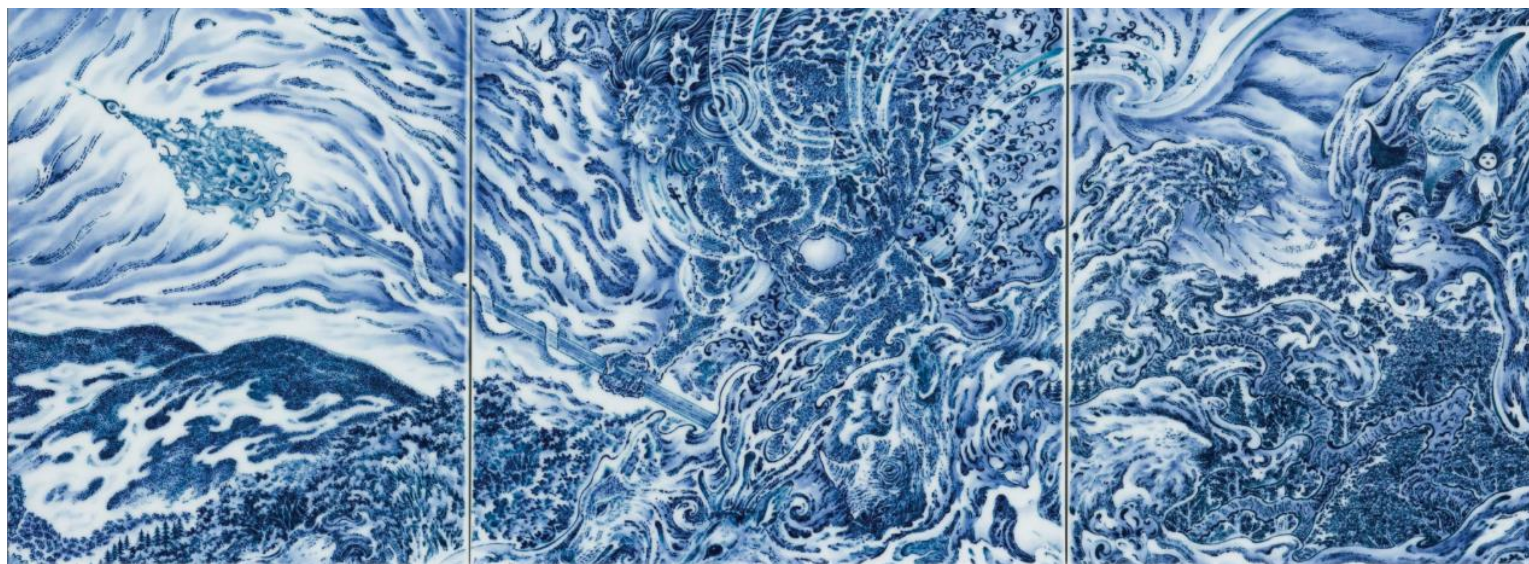


—虹の彼方に— 葉山有樹

2026年6月6日(土)～7月17日(金)



《有為転変図》(部分)

葉山有樹は1961年佐賀県西松浦郡有田町生まれの陶芸家、著述家で、1975年に陶芸の世界に入り50年を迎えました。

肥前磁器伝統に根差した技法を学び、超人的な技術と独自の世界観をもって比類ない細密描写で普遍的な美を追求する類稀なるアーティストです。

活動は国内にとどまらずヘルシンキ、ニューヨーク、ブリュッセルなど海外でも旺盛に活動し高い評価を受けています。また、著述家としても歴史研究に基づき小説、童話、絵本など多くの「物語り」を手掛けています。

近年では陶芸の可能性を広げる目的で、屋内、野外展示に適合する大型作品の制作などを手掛け、展覧会においてもインスタレーション作品の発表を行っています。

本展では、葉山が独自の世界観を発表します。新たなテーマを加味した今回の展覧会は三部構成となり、第一部は音楽より影響を受けた感性で描いた作品など、会場全体を作品化したインスタレーションの広がり、第二部では東西文化の融合をテーマとした作品群を展開、第三部Ⅰでは、自然界と人類の共生をテーマとした作品群、第三部Ⅱでは四大文明を表現した作品と、歴史の回廊する展示構成です。

過去・現代・未来を基本的な構成とし、現代に生きる私たちが未来に繋ぐ不変の思いを「虹の彼方に」と称したテーマで表現した葉山有樹の不変の美をご覧ください。

展示内容

○第一部 音の世界

宇宙と地球のつながる波動（エネルギーが伝わるゆらぎ）から音が発生し「音楽」が生まれました。音の放つ波は音楽となり私たちの心に浸透します。芸術作品も同様に私たちの心に浸透するものだと考えます。第一部では《月の光》（高さ 2M×幅 8M）という作品で、ドビュッシーより受けた感性を夜の海の月の光として表現しました。

その先には、《波動》（幅 1.8M×奥行 12M）を描いた作品が現れ、その中心には地球とアイデンティティを表現した青い球体作品が浮遊しています。

またその先には、自然崇拝の神である《風神雷神図》（縦 1.8M×幅 1.8M）一対の作品があり、その二つの作品の間を進めば、《有為転変図》（高さ 2.4M×幅 18M）「万物は同じところで留まることなく常に移り変わるもの」を表し、中心には万物の根源「水」を用いて波紋を表す作品を設置します。



《月の光》



《有為転変図》

○ 第二部 東西文化の融合

文化の変革は必ず、既存文化に異なる文化が流入した際に発生することが多い。

第二部では西アジア、ギリシャの文化と東アジアの文化との関わりを表現しました。

セリカの神々はギリシャ神話の神々と東アジアの神々を融合した姿を描きました。

陶磁器作品の中心には歴史の始まりを象徴した《龍孫皇帝図》を配し、左右には《九龍衛珠壺》（東アジアの象徴）と《煌輝唐華文壺》（メソポタミアの象徴）、その側面にはオブジェ《龍淵の剣》と《鳳翔の剣》を配しています。龍は東アジアのシンボルであり、フェニックスは西側のシンボルです。



《龍孫皇帝図鉢》

○ 第三部 I 自然界と人類の共生

第三部 I では不変の美を表現しました。人もまた自然界の恵みの中でのみ、生きることができる。未来に生きる子どもたちには、四季折々の草花が咲く環境を保ちつつ、進化するべきである道を象徴する作品として「万花彩」を配置しました。

作品に描いたのは、美しく咲く草花だけではなく、季節が過ぎるとともに散りゆく姿も描いています。我が身が朽ちて滅び行く先には、肥料となり翌年、また美しい花を咲かせる自然界の秩序を表現しました。



《万花彩 Ornament》

○ 第三部Ⅱ 四大文明

第三部Ⅱでは四大文明の象徴たる作品を配置しました。

最古の文明、メソポタミア文明ではパルミラより創造した《^{シルクロード} 絲綢之路 幻想水注》、エジプト文明では「創世神話の神々」、インダス文明では「森羅万象図」、黄河文明では「護城四神図」を人類の足跡として表現しました。



《森羅万象図玉盃》

「虹の彼方に」

Over the rainbow の歌詞を主題として今回の展覧会は構成しました。

今は亡き人の魂が、今日を生きる私たちを静かに見守ってくれている。

その思いと願いは、時代も民族も国境をも超えた普遍の願いだからです。

葉山有樹

1961年佐賀県西松浦郡有田町生まれ。

1975年より有田の窯元で修行、制作開始。1985年に「葉山有樹窯」を開窯。

葉山は、肥前陶磁の伝統に根差した超人的な技巧をもつ陶芸家であると同時に、小説や童話などを手掛ける著述家でもある。さまざまな歴史・文化に根差した物語を執筆し、その後絵付けによって磁器に表現を行う。紋様、画題は古代メソポタミアやエジプト、中国、日本など多様な文明が参照され、またマンガ、アニメ、劇画といった現代のリアリティも投影される。

近年は磁器絵付け留まらず、その表現を空間にまで拡張し、大規模なインスタレーションにも取り組んでいる。

○主な展覧会

- 個展「A Pattern odyssey 葉山有樹展」(スパイラル、2007年)
- 個展「A Pattern odyssey Yuki Hayama Exhibition」
(デザインミュージアム、ヘルシンキ、フィンランド、2007年)
- グループ展「工芸未来派」(金沢21世紀美術館、2012年)
- 「道後オンセナート2014」(2015年、松山市)
- グループ展「工芸未来派」
(ミュージアム・オブ・アーツ・アンド・デザイン、ニューヨーク、2015年)
- 個展「BEAUTY OF LIFE」(Ippodo Gallery・アメリカ、2016年)
- グループ展「工芸未来派」(金沢21世紀美術館、2012年)
- グループ展「肥前佐賀幕末維新博覧会特別展三人展—明日への眼差し—Forward Stroke」
(佐賀県立美術館、2018年)
- グループ展「ポケモン×工芸展」(全国、2022年から)
- 「GO FOR KOGEI 2023」(富山市、2023年)
- 個展「一虹の彼方に—葉山有樹展」(水戸市民会館、2025年)、ほか。

○主な著作

- 『千年の華—細密画の世界—葉山有樹作品集』(2002年)
- 『A Pattern Odyssey 文様をめぐる450万年の旅』(スパイラル、2007年)
- 絵本『魚になった少女』(風涛社、2008年)
- 童話『空飛ぶだんごむし』(風涛社2010年)
- 短編小説『種子集』(ブイツーソリューション2012年)
- 『mutability—無常—』(2018年)、ほか。

○コレクション

- 金沢21世紀美術館、ほか。

開催概要

展覧会名	一虹の彼方に― 葉山有樹
会期	2026年6月6日(土)～7月17日(金) 会期中無休
会場	そごう美術館(横浜駅東口・そごう横浜店6階)
住所	220-8510 神奈川県横浜市西区高島2-18-1 そごう横浜店6階 045-465-5515 [美術館直通]
時間	午前10時～午後8時 *入館は閉館の30分前まで。
入館料 (税込)	一般1,500(1,300)円、大学・高校生1,300(1,100)円、中学生以下無料 *()内は前売、公式オンラインチケットおよび[クラブ・オン/ミレニアムカード、クラブ・オン/ミレニアムアプリ]をご提示の方の料金です。 *前売券は6月5日(金)まで公式オンラインチケットおよびそごう美術館にてお取り扱いしております。 *障がい者手帳各種をお持ちの方、およびご同伴者1名さまは無料でご入館いただけます。

【そごう美術館公式サイト】<https://sogo-museum.jp/>

【X(旧Twitter)】<https://x.com/sogomuseum>

主催	そごう美術館、神奈川新聞社
後援	神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、tvk(テレビ神奈川)、FMヨコハマ
協力	葉山有樹スタジオ
企画協力	
・監修	岡田勉
協賛	そごう・西武

- *ご入館前にそごう美術館ホームページおよび会場入口掲示の「ご入館の際のお願い」をご確認ください。
- *展覧会・イベントの中止や延期、一部内容が変更になる場合がございます。
- *最新情報は、そごう横浜店・そごう美術館ホームページをご確認ください。
- *館内では係員の指示に従っていただきますようお願いいたします。
- *入館者が一定数を越えた場合には、入場制限を行います。(入場制限時、会場付近にはお待ちいただく場所はございません)

関連イベント

●葉山有樹によるギャラリートour

作品解説や描画の実技披露を行います。

詳細はそごう美術館ホームページにてご案内いたします。

開催日 6月27日(土)・28日(日)、7月4日(土)・5日(日)

開催場所 そごう美術館展示室内

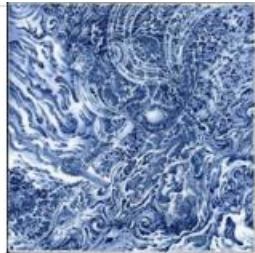









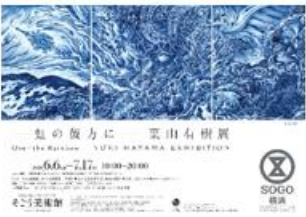
[ギャラリートーク] 午前11時～12時

[実技披露] 午後2時～3時

※参加費無料(別途入館券が必要です)

広報用画像一覧

☆広報用画像は、ARTPRにてお申し込みください。→ <https://www.artpr.jp/sogomuseum>

			
《有為転変図》（部分）	《有為転変図》	《月の光》	
			
《能孫皇帝図鉢》	《煌輝唐華文壺》	《九龍衝珠壺》	《万花彩壺》
			
《万花彩Ornament》		チラシ表	チラシ裏
			
B3ポスター			

本展の取材等につきましては、下記までご連絡ください。

ご取材いただいた際は、大変お手数ですが掲載紙1部をご送付くださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ先：そごう美術館】 〒220-8510 神奈川県横浜市西区高島 2-18-1

Tel. 045-465-5515 / Fax. 045-465-2298

担当：三橋美季 (miki-mitsubishi@sogo-seibu.co.jp)